

ジャガイモ 多様な品種を楽しむ



あなたも
チャレンジ

家庭菜園



園芸研究家
成松次郎

図1 畑の準備

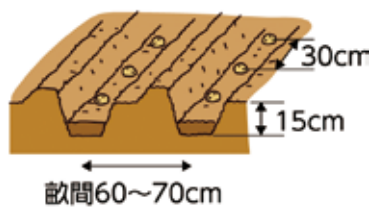


図2 種イモの切断



図3 芽かき

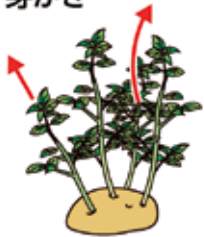


図4 追肥・土寄せ

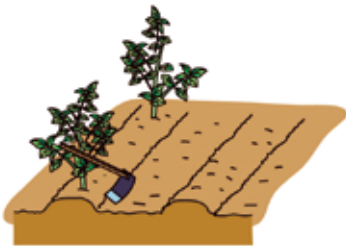


図5 収穫



休眠の明けた芽は5度程度で活動が始まります。早植えして発芽した芽は遅霜の被害を受けるので、遅霜の影響がなく暖かくなってから植え付けます。生育適温は10〜23度で、冷涼な気候を好みます。

「畑の準備」

ホクホクした粉質の「男爵薯」「キタアカリ」や、アンデスの栗ジャガと呼ばれる「インカのめざめ」、ねっとりした粘質の「メークイン」「レッドムーン」など料理に向いた品種を選びましょう。秋作を行うには「デジマ」「ニシユタカ」など休眠の浅い品種を使います。

「品種」

休眠の明けた芽は5度程度で活動が始まります。早植えして発芽した芽は遅霜の被害を受けるので、遅霜の影響がなく暖かくなってから植え付けます。生育適温は10〜23度で、冷涼な気候を好みます。

植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰50gを施しよく耕し、1週間前に、畝間60〜70cm、深さ15cm

の溝を掘り、畝1m当たり普通化成肥料100gと堆肥1kg程度を施し、土を戻してよく混ぜておきます(図1)。

種イモの大きさは1個30gくらいが良く、大きいイモは各片に頂部に芽が付くように3〜4片に縦切ります(図2)。切り口は、日陰で短時間乾かしておきます。元肥の上に少し土を戻し、種イモの切り口を下にして、株間30cmに植え付け、7〜8cmの覆土をします。マルチ栽培をすると雑草を防ぎ、地温が上がるため収穫期が1週間程度早まります。この場合、種イモを植え付け後、黒色ポリフィルムを張り、芽先がフィルムを持ち上げたら、フィルムを破り上に出します。なお、発芽後の遅

「植え付け」

芽が15〜20cmの頃、畝1m当たり普通化成肥料50gを畝の両側にまき、5cm程度の厚さに土寄せをします。2回目の土寄せは同じようにつぼみが付いた頃に行います。土寄せは十分し、イモの露出を防ぎます(図4)。マルチ栽培ではマルチの裾を上げて追肥をします。

「収穫」

開花後2〜3週間で新ジャガを楽しめますが、葉が枯れ始めてから掘り取れば充実したイモになります。晴天が続いた日にイモを傷付けないように掘り取ります(図5)。イモは光で緑化するため冷暗所で保存します。

霜被害対策として、不織布のべた掛けがお勧めです。

芽が10cmくらいに伸びた頃、強い芽を2本残して他はかき取り(図3)。

「追肥・土寄せ」

芽が15〜20cmの頃、畝1m当たり普通化成肥料50gを畝の両側にまき、5cm程度の厚さに土寄せをします。2回目の土寄せは同じようにつぼみが付いた頃に行います。土寄せは十分し、イモの露出を防ぎます(図4)。マルチ栽培ではマルチの裾を上げて追肥をします。

霜被害対策として、不織布のべた掛けがお勧めです。

芽が10cmくらいに伸びた頃、強い芽を2本残して他はかき取り(図3)。

「追肥・土寄せ」

芽が15〜20cmの頃、畝1m当たり普通化成肥料50gを畝の両側にまき、5cm程度の厚さに土寄せをします。2回目の土寄せは同じようにつぼみが付いた頃に行います。土寄せは十分し、イモの露出を防ぎます(図4)。マルチ栽培ではマルチの裾を上げて追肥をします。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

ご予約
受付中

園芸書 コーナー

やさしい畑 春号

2021年3月3日発売 定価：922円(税込)

ふた手間かけてもやりたい
極めつけ多収仕立て

夏野菜は仕立て方によって、甘くなったり、長持ちしたり、たくさんとれたり、あるいは病気に強くなったりします。基本を押さえるだけでも家庭菜園では十分な量をとれるでしょうが、もう「ふた手間」かけることで超多収をねらいます。①植えつけ時、②生育途中、この2段階ごとに秘策あり。3〜4月のうちからスペースと資材を準備しておくことで取りかかりやすくなります。



※画像はイメージです

家庭菜園の初心者から上級者まで、幅広い方におすすめの園芸書をご紹介します。野菜づくりの参考に、ぜひどうぞ!

野菜づくりを
はじめてみよう!



●別冊付録

小菜園展開マニュアル

コロナ禍にあって家庭菜園を始める人が増え、家まわりの空きスペースや庭の一部を畑にしようというケースも多くなるようです。この付録では、初めての野菜づくりをする人向けに、現実的な選択肢として小菜園の設営・展開方法を伝授します。

※内容は変わることがあります

